

2026年6月18日

鹿児島大学病院で

下垂体腫瘍の手術を受けた患者さんへ
(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

下垂体腫瘍の臨床転帰に関する研究

【研究の目的】

下垂体腫瘍はホルモンを分泌する下垂体から発生しますので、腫瘍の存在、そして、手術により、少なからず下垂体機能に変化が生じます。手術による下垂体機能の変化や、腫瘍の形態の変化によって、患者様の QOL や臨床データ、経過にどのような変化が生じるのかを明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

通常、下垂体腫瘍の手術を受ける患者様には、術前、術後 1-2 週間、術後 3-6 か月目に、それぞれの患者様の状態に合わせてホルモン負荷試験を行っています。また、一部の患者様にはアンケートで QOL の評価を行っています。これ

らの検査結果や、手術前後の画像所見、腫瘍の病理組織像や転写因子を含めた免疫組織化学、患者様の病状や経過についての情報を診療録や保管されている試料から収集し、解析します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2032年3月31日

【対象となる患者さん】

2007年4月1日から2031年3月31日までに、鹿児島大学病院脳神経外科で下垂体腫瘍と診断され、下垂体腫瘍の手術を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

手術前後のホルモン負荷試験の結果、手術前後の画像所見、アンケート結果、患者様の病状や経過についての情報を診療録から収集し、解析します。

手術加療の際に摘出した腫瘍の一部を保管させて頂いている試料がある場合、改めてその病理組織像の確認や免疫組織化学による再検査を行い、検討します。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

神経病学講座 脳神経外科

講師 藤尾信吾

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学病院長 石塚 賢治

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報と特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 神経病学講座 脳神経外科

講師 藤尾信吾

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041